

教育を起点とした好循環のまちづくり 鹿妻たけひろ通信

2025年 8月発行 No.4



市議会議員としての任期4年のうち、約半分が過ぎました。

前は、市内各地域での議会報告会について記載しましたが、そこでは個人や地域としての意見要望が主でした。その後、鹿沼商工会議所等、様々な団体との意見交換会に参加してきましたが、そこでは、企業や団体の視点での意見要望、課題などを知ることができました。

現在鹿沼市では、次期総合計画の策定に向けて、有識者等による審議会や、各地区での意見交換会が開催されています。これを進めていく上でもやはり、様々な背景の違いによる多様な考えをよく聞き、そのうえで是非を判断し、計画に反映していくことが重要だと思いますので、ぜひ多くの方に関心を持っていただきたいです。

完成した計画に対して、すぐさまそれを批判することは、議員としては難しくないかもしれません。

しかし、それよりもまず、作っていく過程において、よりよい計画になるようしっかりと意見を述べ、議論をしていくことが議員としては求められるのではないかと思います。



発行：鹿妻たけひろ後援会 発行責任者：鹿妻たけひろ
〒322-0076 栃木県鹿沼市上日向 307 電話 050-3188-1101

HP：<https://kazumatakehiro.com>

お友達登録
お願いします！



公式 LINE



公式 HP

議会での一般質問の概要

令和7年3月議会

生活困窮に対する支援について

鹿沼市における生活保護や就学援助制度の状況について、また、生活困窮者自立支援制度に基づき、鹿沼市で行っている支援の内容について質問しました。

相談の心理的なハードルを下げることや、支援内容を充実させることと同時に、負担軽減のための取組（連携や業務効率化など）も重要ではないかと思います。

インクルーシブな社会の実現について

インクルーシブ教育についての考えや、公園のインクルーシブ遊具について質問をしました。

令和7年6月議会

鹿沼市の働き手不足について

鹿沼市における状況と、考えられる要因や支援内容について、また、今年度から始まった、鹿沼市奨学金返還支援補助金について質問しました。

大学進学率は増加傾向にあり、大学進学者の約半分が奨学金を借りていると言われています。高い進学率の一方で、求人状況を見る限り、市内企業の求める人材との間にはギャップがあります。就職時のマッチングや企業説明会、経済的な支援といった内容だけでなく、進学前からキャリア教育をしていくことで、将来に対する視野が広がり、自分のやりたいこととできることのバランスもとりやすくなるのではないかと思います。

鹿沼市職員の採用について

採用試験の受験者数や採用人数などについて質問しました。また、職員の離職の状況や離職防止の取組などについて質問しました。



Youtube

鹿沼市議会チャンネル

一般質問等の動画はこちらからご覧ください